



株式会社メニコン

2020年3月期 決算説明資料

証券コード : 7780



I .2020年3月期 連結業績概要



決算のポイント

➤ 2020年3月期 連結業績

売上高:前年同期比 **4.5%伸長** (増収)

メルス会員数 **133万人** に増加

売上総利益:前年同期比 **5.7%伸長** (増益)

原価率の改善

原価率: 47.1% → **46.5%**

営業利益:前年同期比 **26.2%伸長** (増益)

原価率低減による売上総利益の増加及び、
売上高販管費率の低下

営業利益率: 6.9% → **8.3%**

2020年3月期 連結業績サマリー

	2019/3期	2020/3期		百万円
			前期比伸長率	
売上高	80,898	84,519	+4.5%	
売上原価	38,129	39,291	+3.0%	
(原価率)	47.1%	46.5%	(△0.6pt)	
売上総利益	42,768	45,227	+5.7%	
販売費及び一般管理費	37,196	38,194	+2.7%	
(売上高販管费率)	46.0%	45.2%	(△0.8pt)	
営業利益	5,571	7,033	+26.2%	
(売上高営業利益率)	6.9%	8.3%	(+1.4pt)	
経常利益	5,645	6,554	+16.1%	
親会社株主に帰属する当期純利益	3,576	4,060	+13.5%	
1株当たり当期純利益(円)	101.63円	112.25円	---	

連結売上高

845億円

前期比 +36億円
(+4.5%)①メルスプラン売上
+22億円②コンタクトレンズ・
ケア商品売上
+14億円

主な理由

- ①メルスプラン会員数の増加 (前年同期比+2%)
1 DAY会員の増加
- ②1 DAYレンズ及びケア用品の拡販

連結営業利益

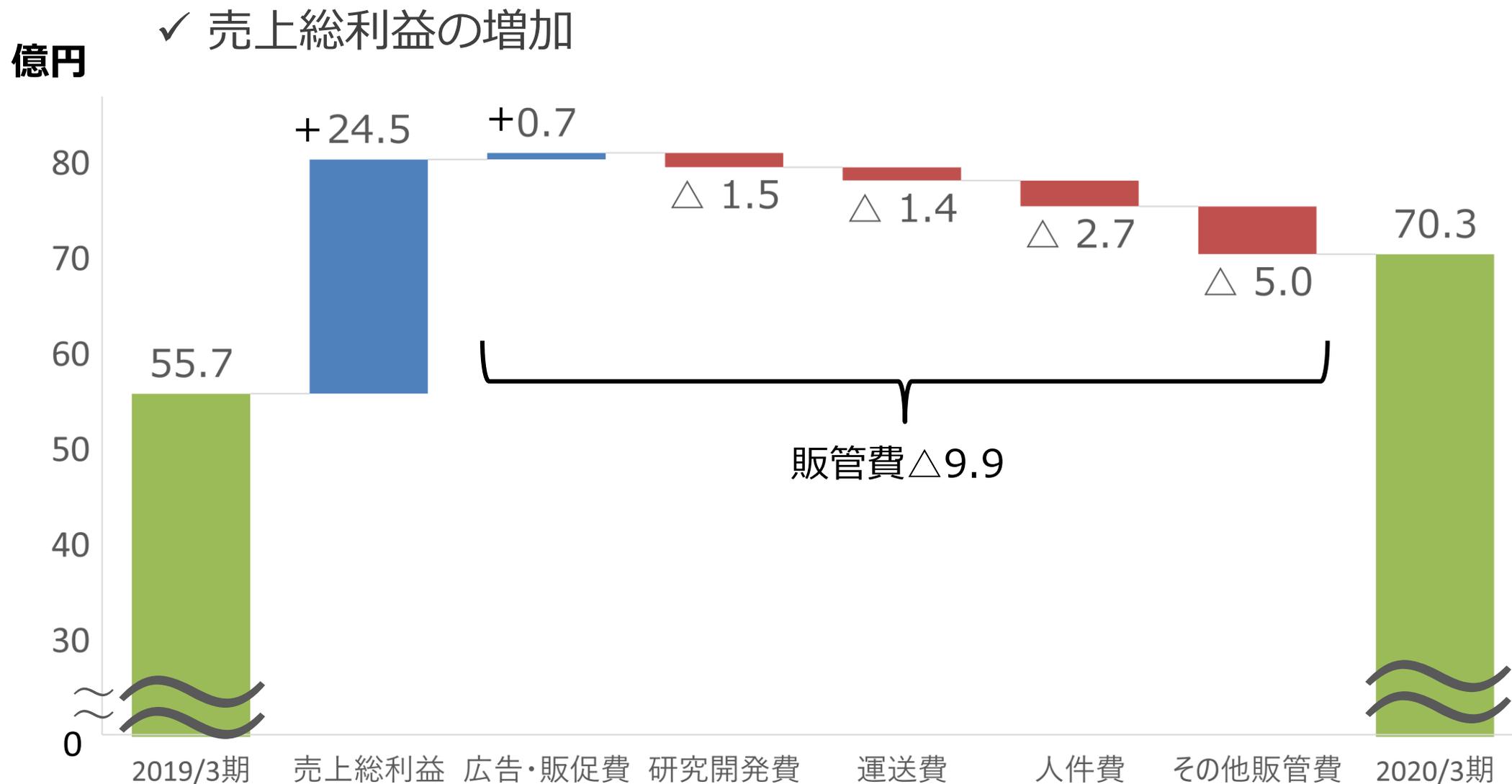
70億円

前期比 +14億円
(+26.2%)売上総利益
+24億円販管費
△10億円

主な理由

売上高増加と原価率の低減による売上総利益の増加
売上高販管費率の低下

連結営業利益分析



売上高の内訳①

製品及びサービス別

百万円

		2019/3期	2020/3期	
				前期比
連 結 売 上 高		80,898	84,519	+4.5%
製 品 及 び サ ー ビ ス 別	コンタクトレンズ ・ ケ ア 商 品	38,172	39,555	+3.6%
	メルスプラン	40,615	42,806	+5.4%
	そ の 他	2,110	2,157	+2.2%

※「その他」に新規事業を含んでいます。

製品及びサービス別 コンタクトレンズ・ケア商品

395億円

前期比 +14億円
(+3.6%)① 1DAY
+ 7 億円② 2 WEEK・1 MONTH
+ 3 億円③ ケア用品
+ 5 億円その他
△ 1 億円

理由

- ① 国内・海外ともに販売が伸長
- ② 日本での 2 WEEK、欧米での 1 MONTH レンズが伸長
- ③ 中国での販売が伸長

428億円

前期比 +22億円
(+5.4%)① 1 DAY
+18億円② 2 WEEK
+4億円

理由

- ① 1 DAYが好調
- ② 2 WEEKメニコンプレミアムシリーズが堅調

売上高の内訳②

地域別

百万円

		2019/3期	2020/3期	
				前期比
連	結 売 上 高	80,898	84,519	+4.5%
	国 内 売 上 高	70,091	72,622	+3.6%
	海 外 売 上 高	10,806	11,896	+10.4%
	欧 州	6,431	6,615	+2.8%
	北 米	997	1,231	+23.4%
	ア ジ ア ※ 1	3,056	3,687	+20.6%
	そ の 他 ※ 2	320	362	+13.0%

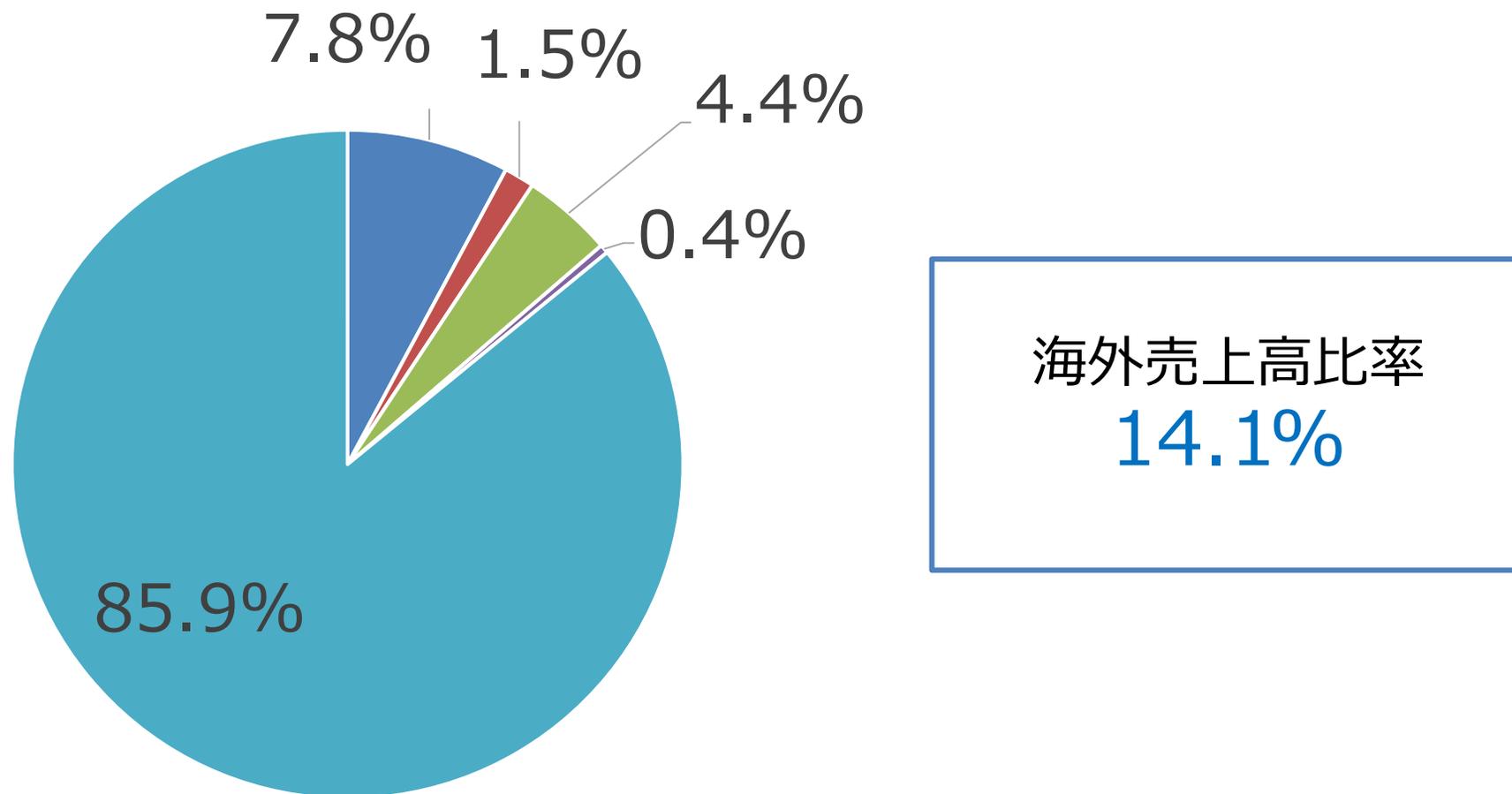
参考:期中平均レート(円)

	2019/3期	2020/3期
EUR	128.26	120.85
USD	111.07	108.95

※1 「アジア」に国内の代理店を通じた中国への主要な輸出を含んでいます。

※2 「その他」にオセアニア等を含んでいます。

海外売上高比率



■ 欧州 ■ 北米 ■ アジア ■ その他 ■ 国内売上高

海外売上高

118億円

前期比 +10.8億円
(+10.4%)①欧州
+1.8億円②北米
+2.3億円③アジア
+6.3億円その他
+0.4億円

理由

- ①イタリア SOLEKO S.p.Aのグループ加入
- ② 1 DAYの販売が伸長
- ③オルソケラトロジーレンズ・ケア用品が堅調

連結貸借対照表サマリー

百万円

	2019/3末	2020/3末	前期比増減
現金・預金	20,084	17,327	△ 2,756
受取手形・売掛金	8,857	9,733	+876
棚卸資産	11,958	12,930	+971
流動資産	42,584	41,722	△ 862
有形固定資産	25,447	34,672	+9,225
無形固定資産	6,236	7,064	+828
投資その他	4,006	3,826	△ 179
固定資産	35,690	45,564	+9,873
資産合計	78,275	87,286	+9,011

1DAY工場
設備等

	2019/3末	2020/3末	前期比増減
支払手形・買掛金	4,471	4,373	△ 98
短期有利子負債	3,811	4,060	+248
未払金	2,970	4,583	+1,612
流動負債	18,568	21,751	+3,182
長期有利子負債	7,061	9,368	+2,307
転換社債型 新株予約権付社債	8,000	-	△ 8,000
固定負債	17,156	12,014	△ 5,141
負債合計	35,725	33,765	△ 1,959
純資産合計	42,549	53,520	+10,971

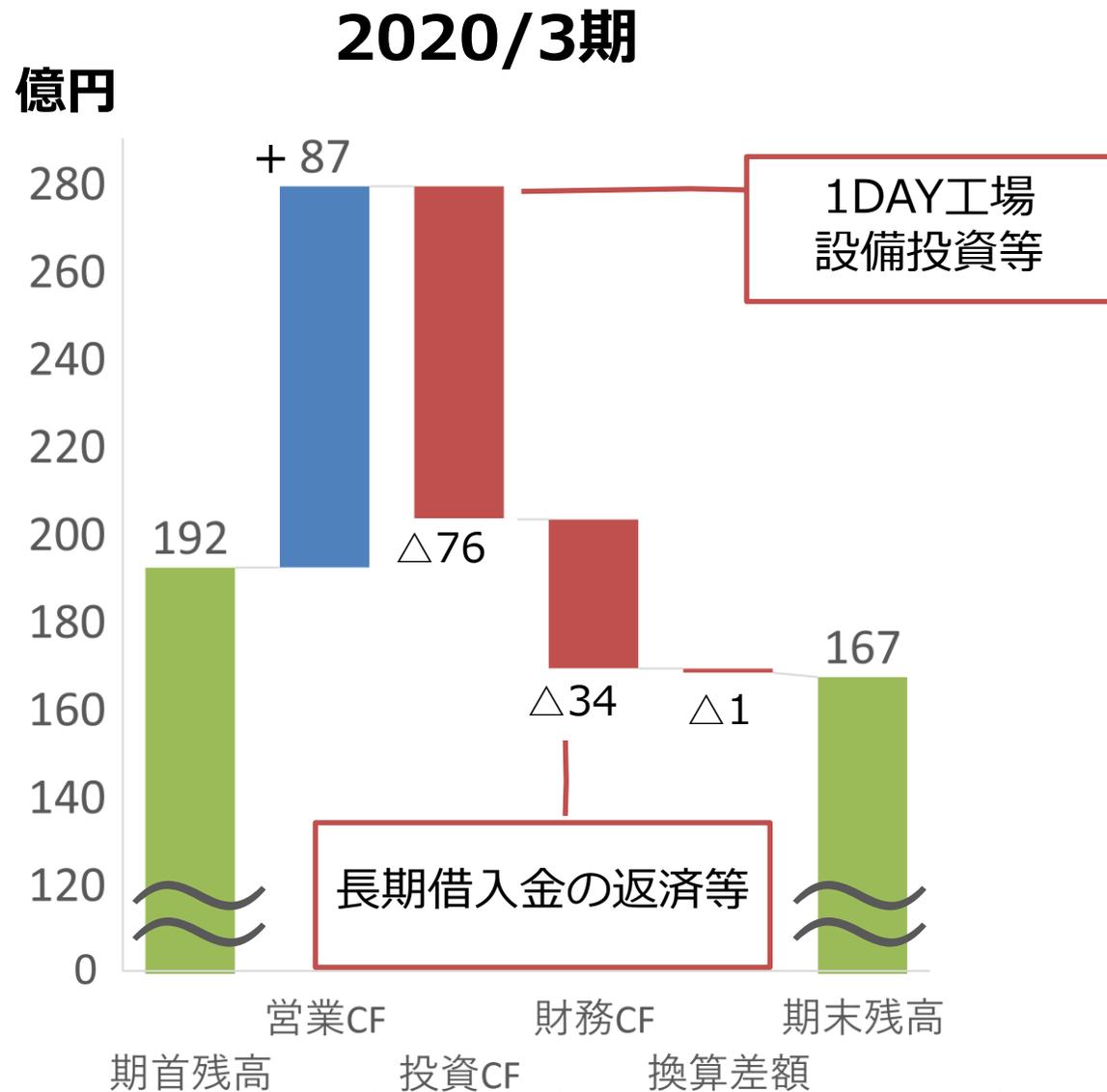
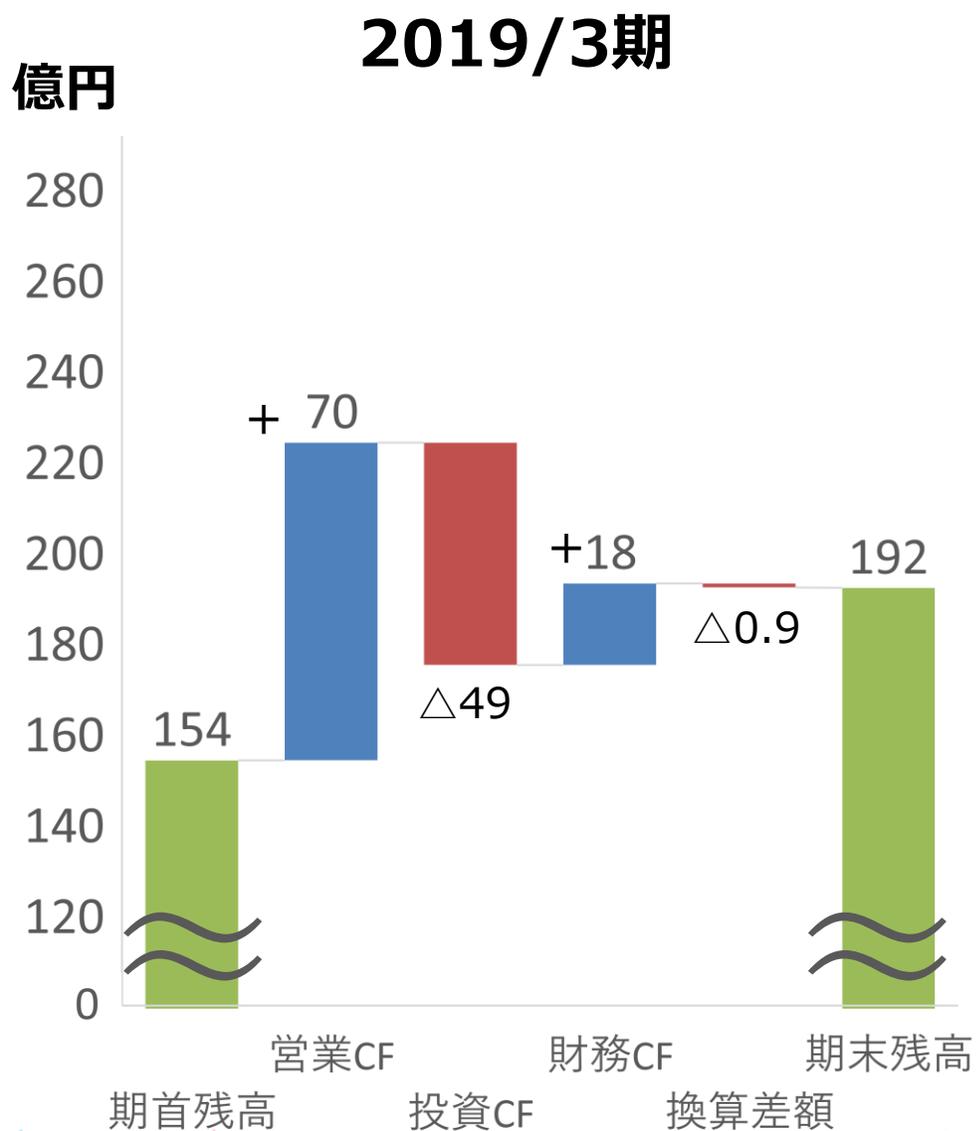
転換社債の
株式転換

転換社債の
株式転換

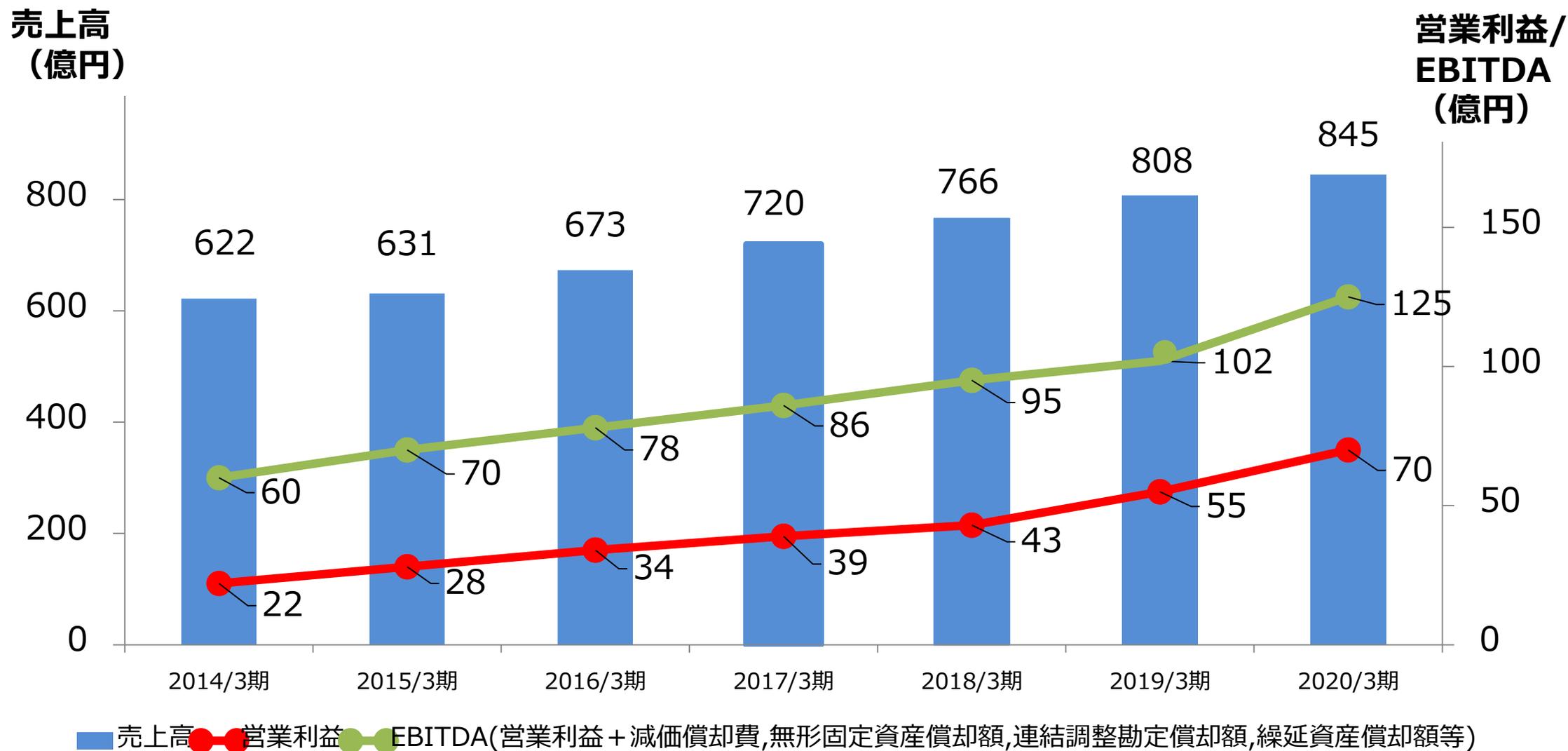
2020/3末	
自己資本比率	61.2%
現金・預金残高	17,327
有利子負債	13,428

※一部の海外子会社で2020/3期期首よりIFRS第16号「リース」を適用
2020/3期末において、以下の項目が増加
有形固定資産の使用権資産:4,137百万円、無形固定資産のその他:17百万円
流動負債のリース債務:678百万円、固定負債のリース債務:3,540百万円

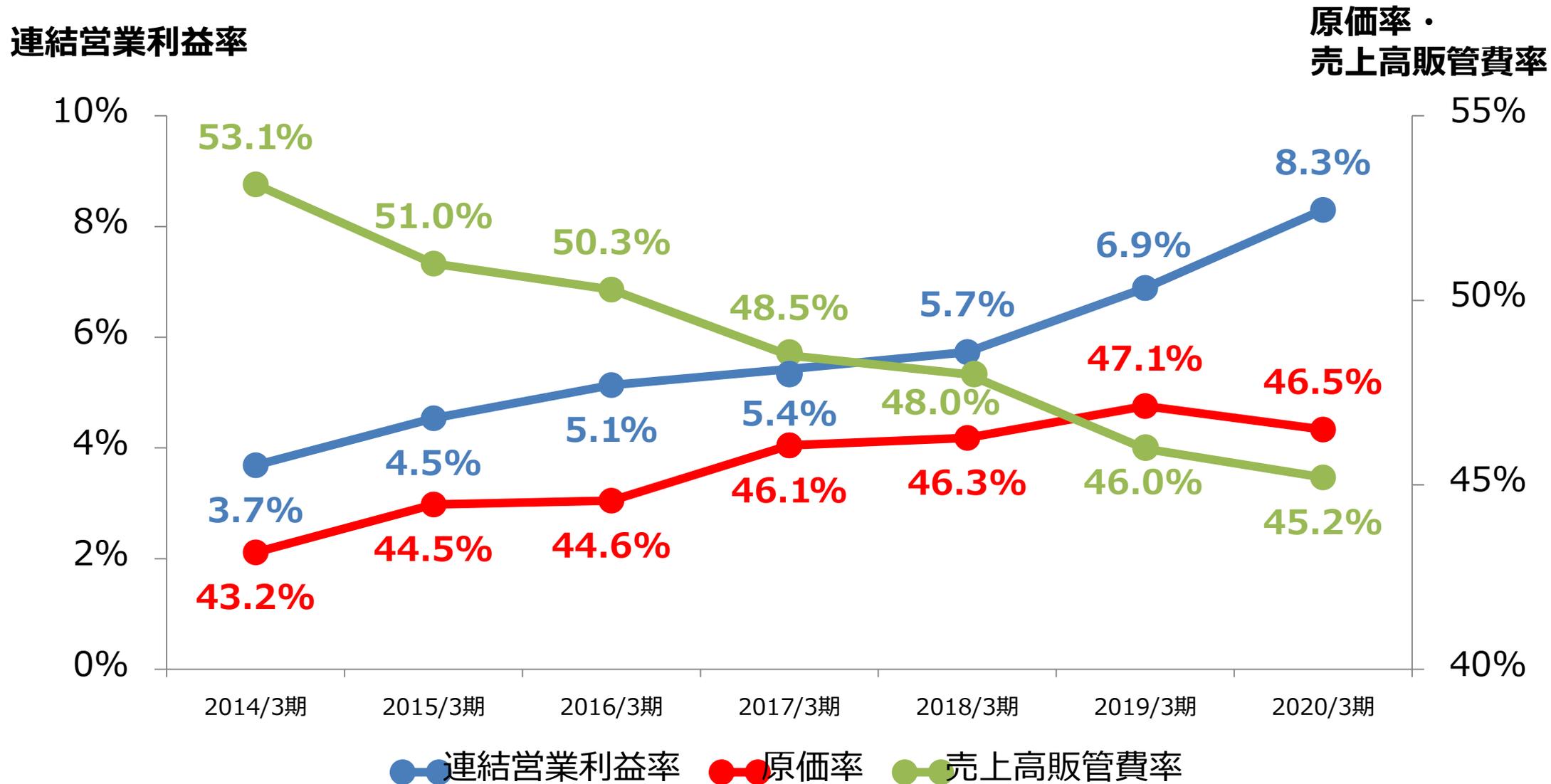
連結キャッシュフロー比較



連結売上高・連結営業利益推移

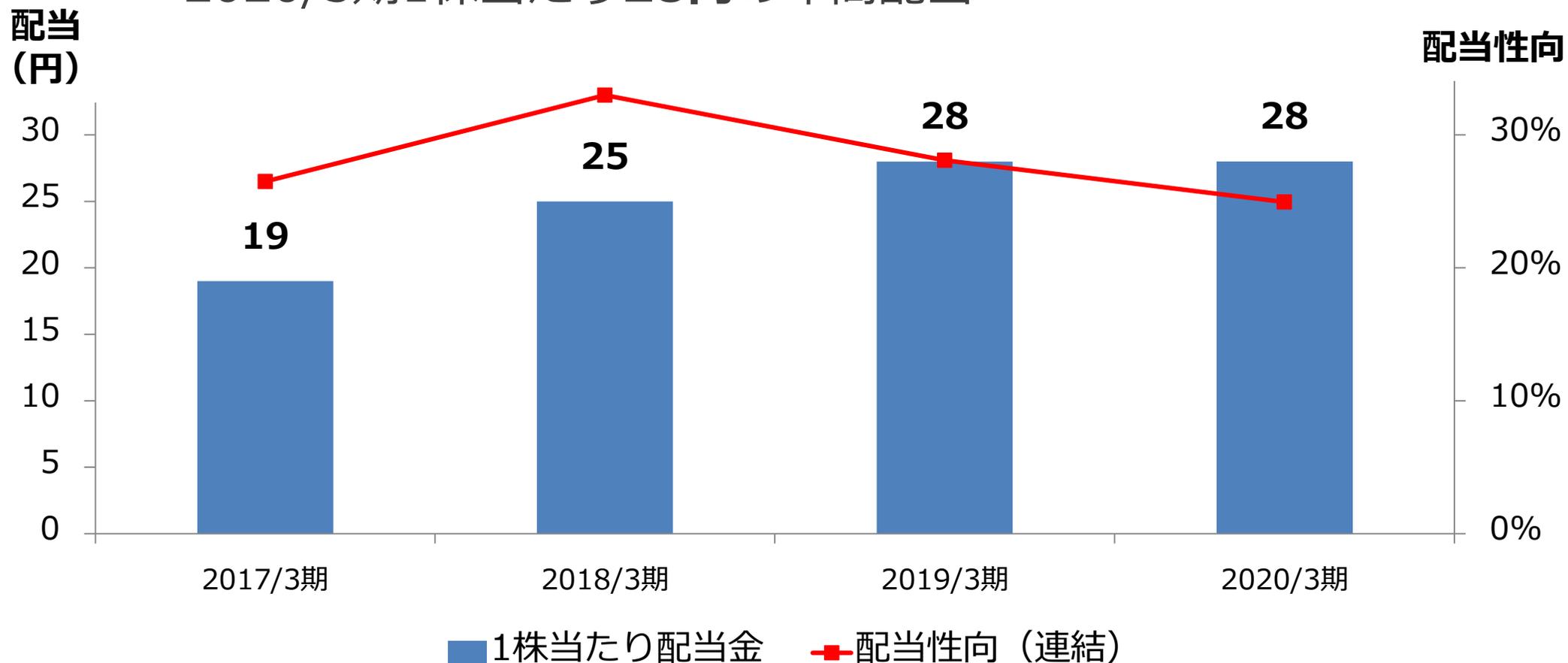


原価率・売上高販管費率・連結営業利益率推移



配当政策

✓ 2020/3期1株当たり**28円**の年間配当



※配当金は2017年3月期の期初に株式分割されたと仮定して計算しております。

Ⅱ.2021年3月期 連結業績予想



業績予想

➤ 2021年3月期 連結業績予想

新型コロナウイルス感染症の拡大と収束見通しが先行き不透明な状況であり、業績への影響について現時点で合理的な算定が困難であることから、2021年3月期通期の業績予想につきましては未定といたします。

今後、業績予想の算定が可能となった時点で配当予想と併せて開示する予定です。

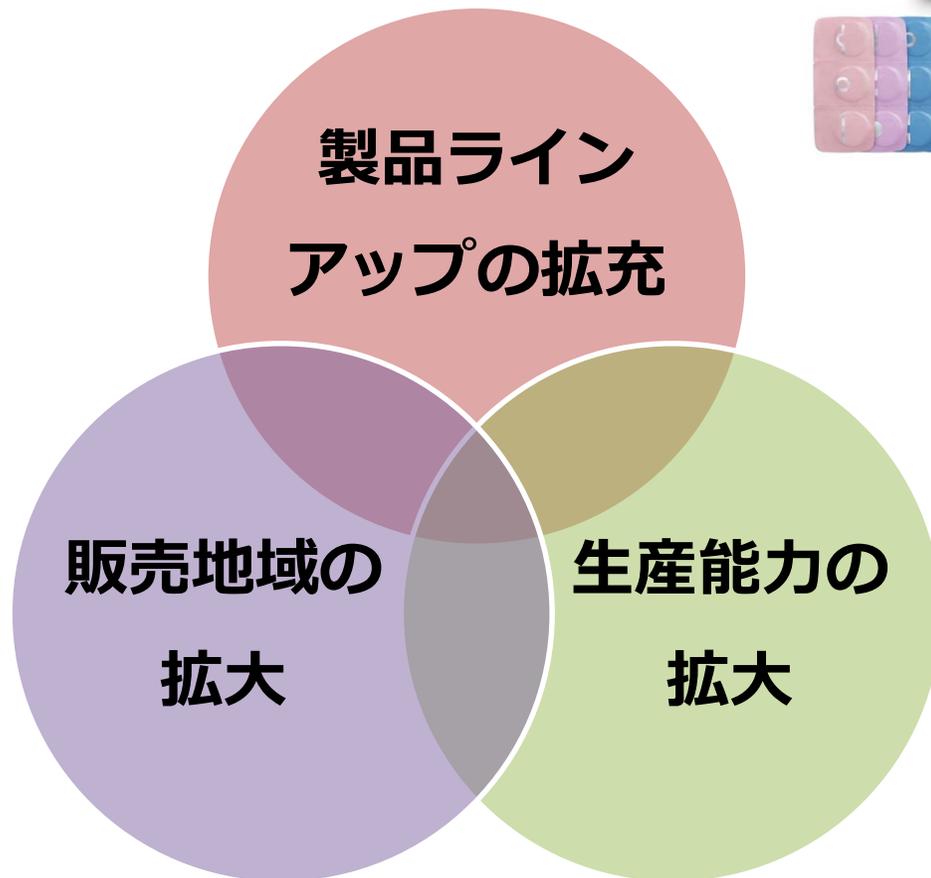
Ⅲ.成長戦略



1 DAYコンタクトレンズ

✓ 1DAYコンタクトレンズの販売拡大戦略を継続

欧州・米国での製品販売
OEM供給の拡大



1DAY「Magic toric」
乱視用ラインアップ

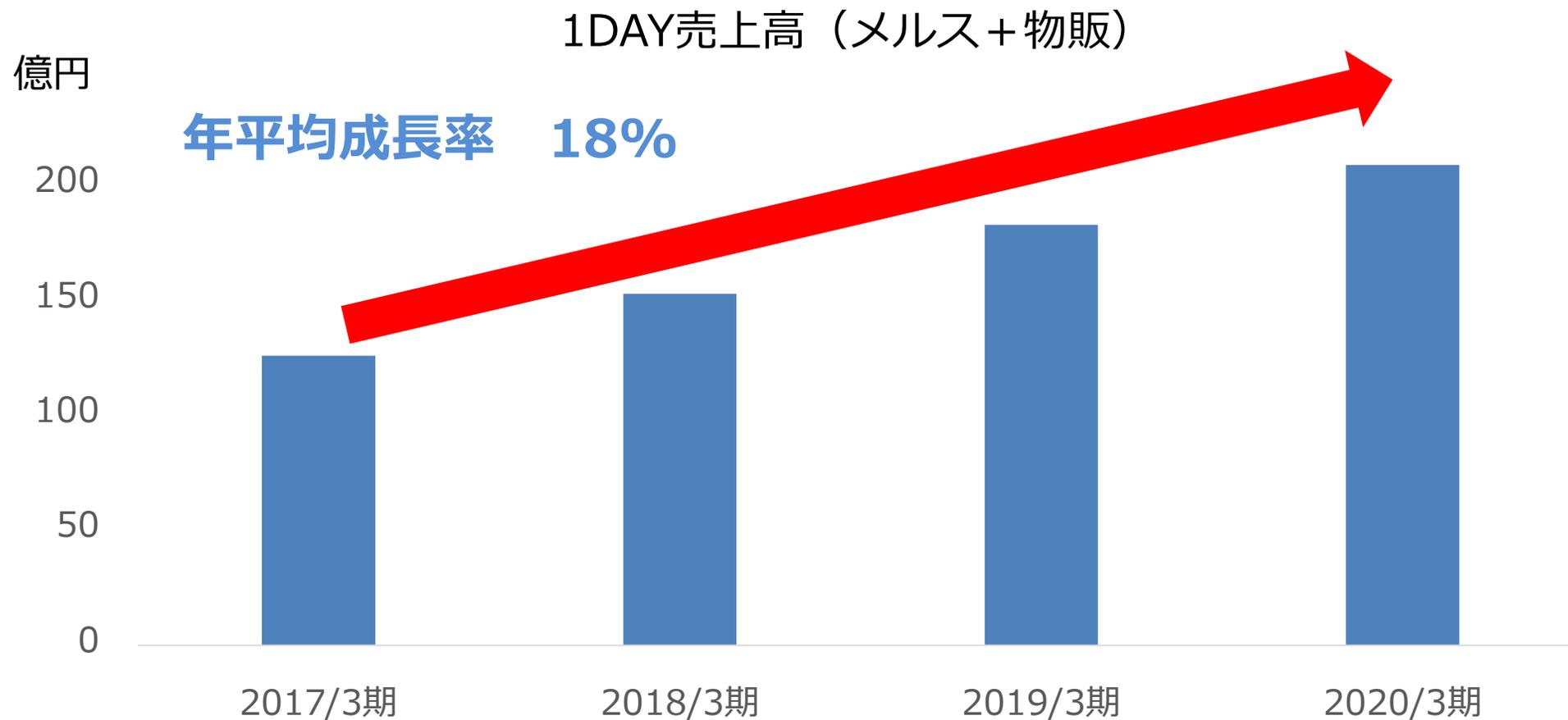


「1DAYメニコン プレミオ」
製造工場の増床工事完了
生産ラインを増設



1 DAYコンタクトレンズ

✓ 1DAY売上高の成長



オルソケラトロジーレンズ

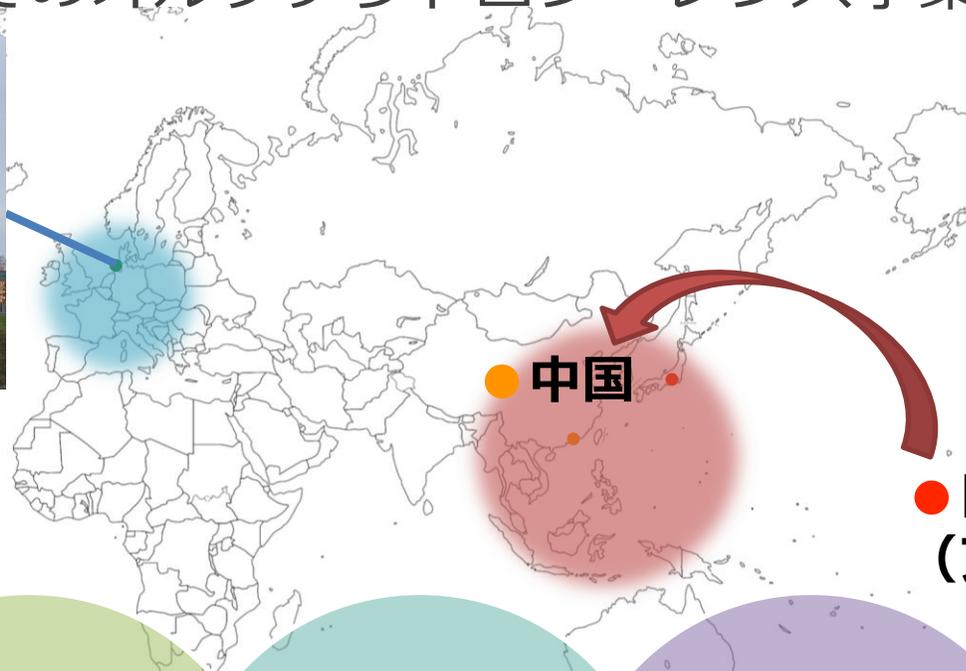
✓ グローバルでのオルソケラトロジーレンズ事業強化



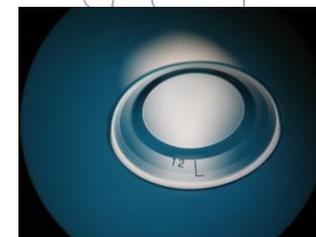
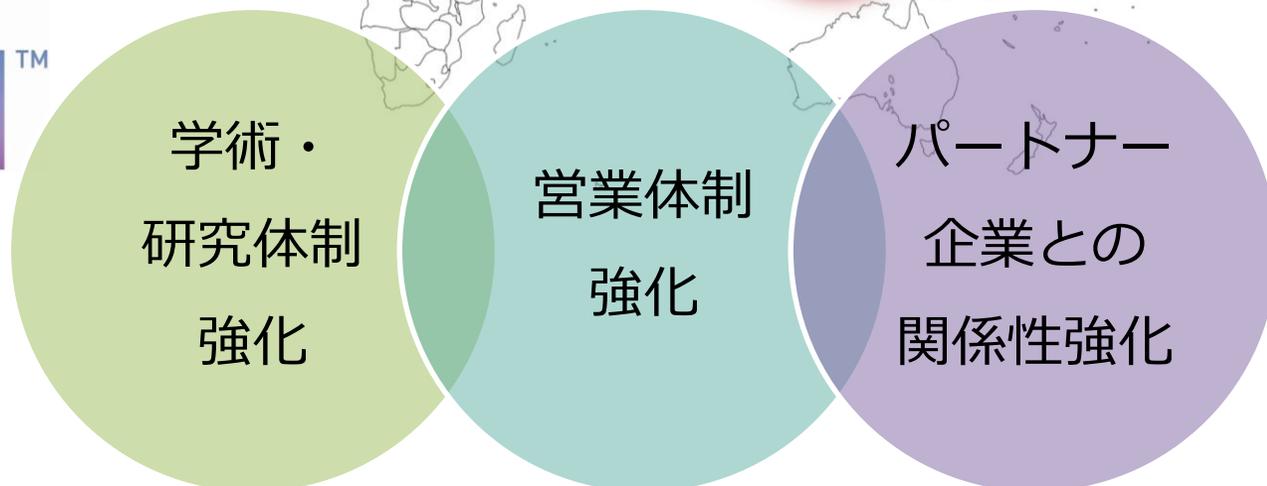
● オランダ
(Menicon B.V.)

Menicon
BLOOM™

近視進行抑制システム



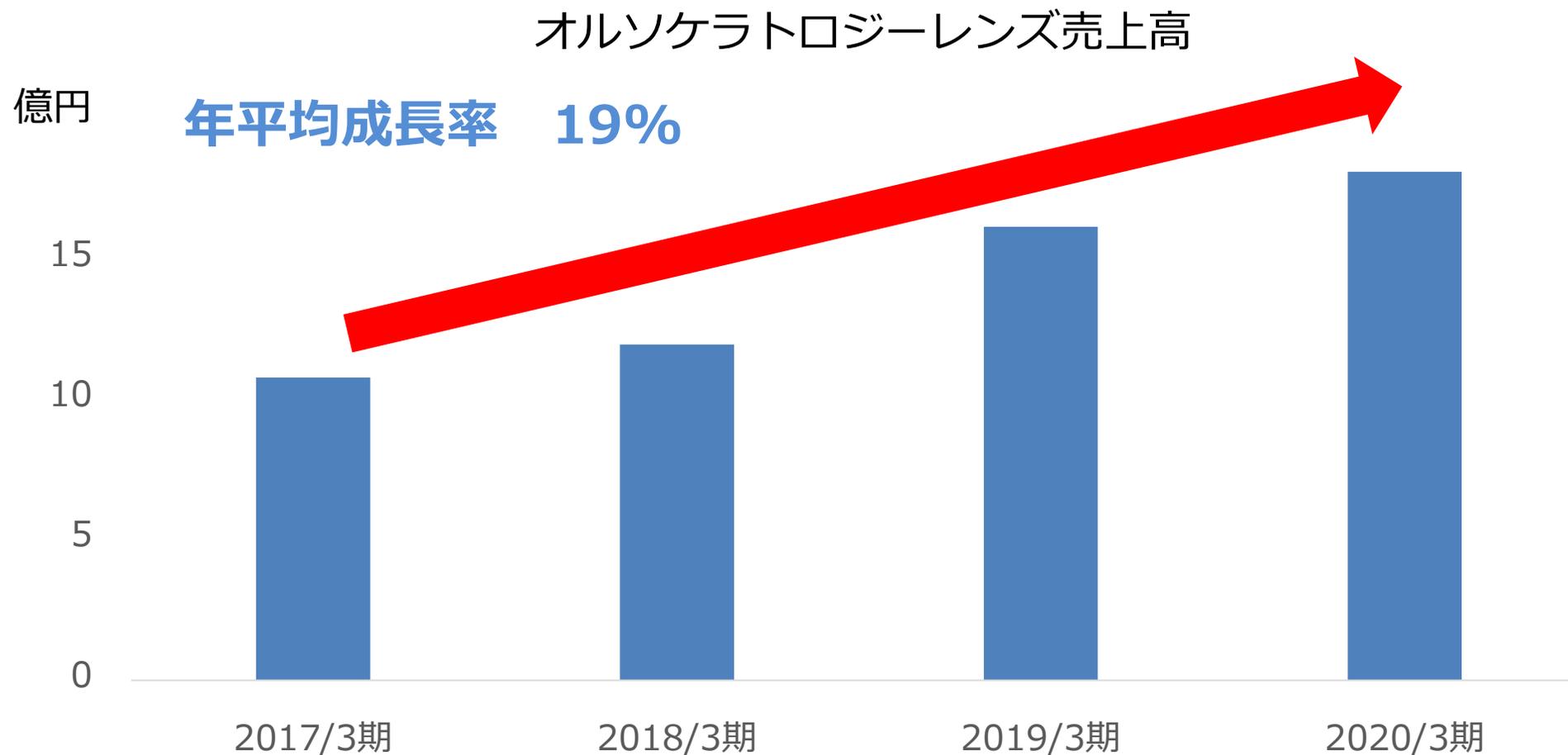
● 日本
(アルファコーポレーション)



αオルソ-K

オルソケラトロジーレンズ

- ✓ オルソケラトロジーレンズ売上高の成長



新規事業

- ✓ 歴史の中で培った技術やノウハウを他の分野に応用
- ✓ コンタクトレンズ事業から派生・関連分野で展開
- ✓ 五感に対する提案を通じて、人を幸せにする事業



動物医療



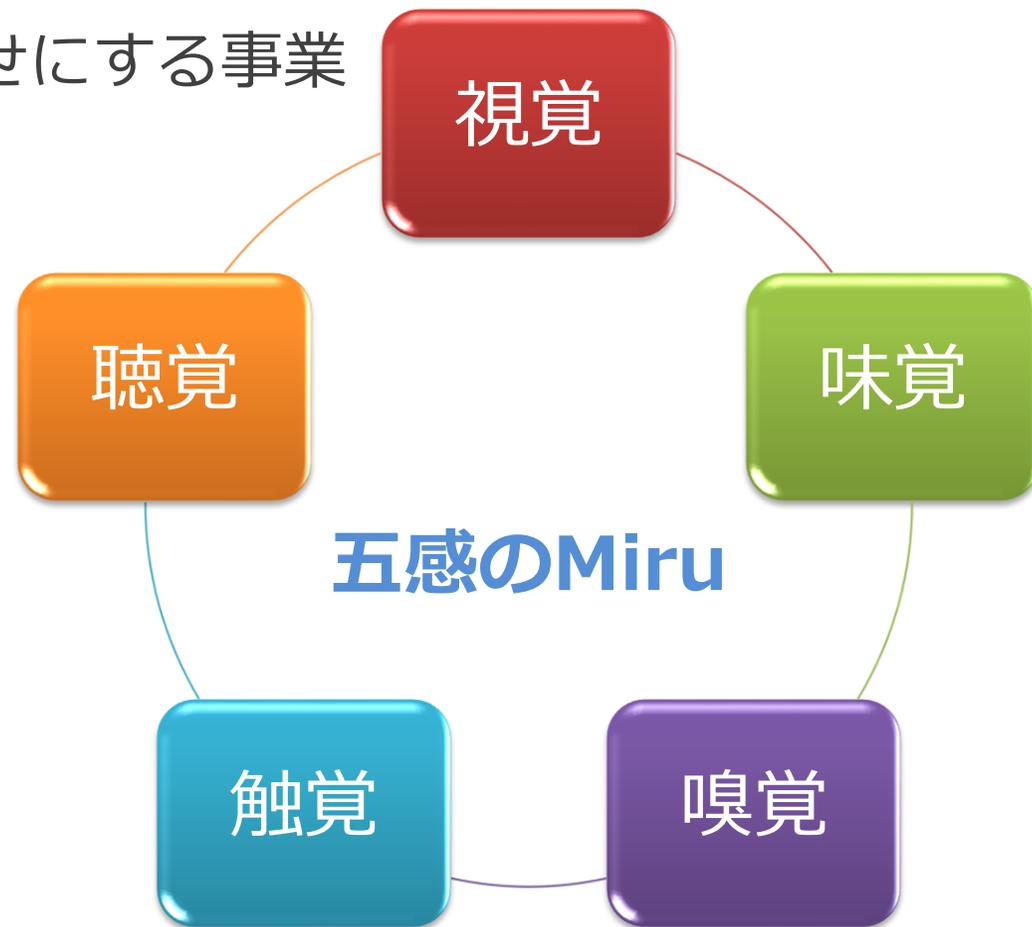
環境バイオ



ライフサイエンス



禁煙事業



IV. メニコンの目指す姿



エンドユーザーファースト

✓ 安全に便利にコンタクトレンズを使っていただく仕組みを促進



専門スタッフのカウンセリング

メルスプランを通じた
コンタクトレンズの
正しい使い方の啓発

オンライン等IT技術と
宅配サービスの活用



メルスプランの宅配サービス

SMART TOUCH

たったの3STEP!



内面にふれにくい1 DAY

清潔、簡単に装用できる
1 DAYコンタクトの
更なる普及

リスクマネジメント

✓ 生産体制・販売体制の強化による安定供給



各務原工場



シンガポール工場



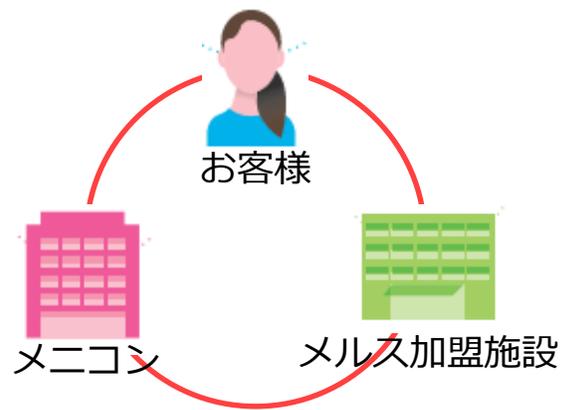
個人情報保護

あらゆる面での
品質管理の徹底



品質マネジメント
システム規格の認証

生産体制の分散化・
生産性の向上



メルスプランのつながり

顧客・取引先との
関係の強化

サステナビリティ

✓ 企業の継続と社会的責任の両面を追及



トキの保護にも協力



環境バイオ事業の商品

環境に配慮した
商品開発・
製造プロセスの構築



※イメージ

プラごみの少ない1 DAY「Magic」

スポーツ・文化事業を
通じた
社会への貢献



メニコンカップへの協賛

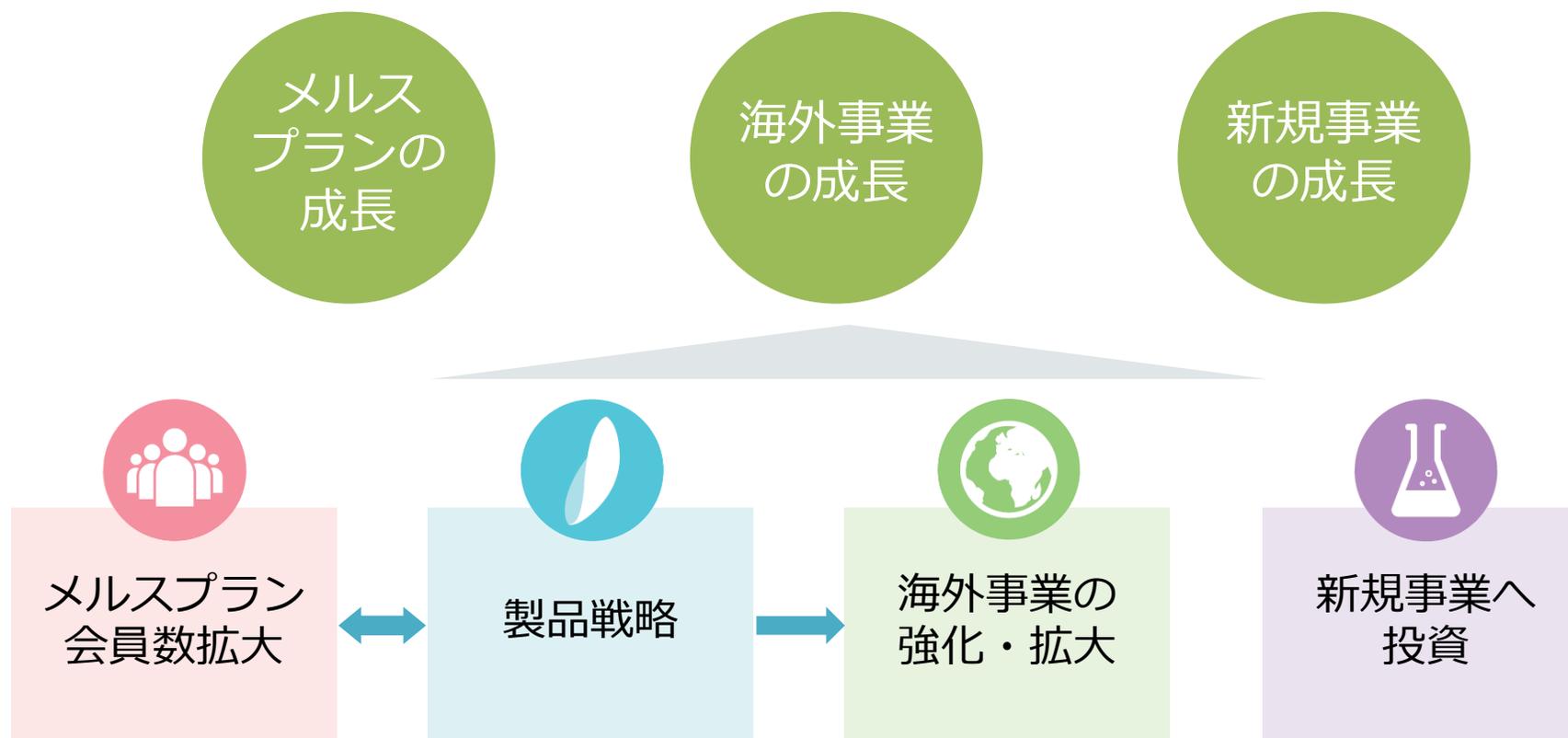


フリーアドレス制の導入

社員の心身の健康を
考えた職場環境の整備・
健康経営の推進

中期計画 Vision2020

売上高1,000億円、営業利益率10%の実現へ



Vision2020 : 2021年3月期の達成目標

免責事項および将来見通しに関する注意事項

免責事項

この資料は投資家の皆様の参考に資するため、株式会社メニコン（以下、「当社」という。）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。

当資料に記載された内容は、2020年5月28日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

投資を行う際は、必ず投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。

将来見通しに関する注意事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があつた場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

お問合せ先

株式会社メニコン 財務 & IR 部

E-mail : menicon-ir@menicon.co.jp

www.menicon.co.jp/company